

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
後藤 由紀、柴田 英治、大谷 喜美江	2年次前期	選択	3	90	演習	巻末掲載
授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する フィードバック 方法	<p>特別研究Ⅰで明確にした研究課題に対する研究方法を選定し、研究計画書を作成する。研究計画書については時間内に複数回の発表を行い、出席者の批判を仰ぐものとする。研究計画書の作成過程では、当然に倫理的問題も検討しなければならない。さまざまな基準から、倫理的問題についても対処できるものを作成する。</p> <p>課題に対するフィードバック方法/スーパーバイズを適宜実施する。討議やプレゼンテーションを通してコメントを行う。</p>					
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシーの①③④の達成に寄与している。					
到達目標 (履修者が 到達すべき 目標)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究課題を解明するため適切な研究方法を選択できる。</li> <li>2. 倫理的配慮を含めて研究課題に即した研究計画書を作成できる。</li> <li>3. 倫理委員会申請に必要な書類を作成し、所定の手続きを実施することができる。</li> </ol>					
時間外学習 に必要な 内容・時間	<p>研究テーマに関連する国内外の文献を幅広く検索し、文献検討を行い研究計画書の作成に臨む（5～8時間）。</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>					
授業計画	<p>1～15 研究方法の検討</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 探究したい現象についての研究での倫理的配慮の検討</li> <li>2) 探究したい現象の具体的なデータ収集方法の検討 (質問項目作成、インタビューガイド作成などのプレテスト)</li> </ol> <p>16～35 研究計画書の作成</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 研究課題・研究背景（先行研究・文献検討、研究枠組み 等）</li> <li>2) 研究の目的・意義</li> <li>3) 研究方法/研究デザイン・データ収集の方法・期間・データ分析の方法 (アンケート、インタビューガイド作成 等の作成も含む)</li> <li>4) 安全性の確保（予想される有害現象と対策）人権・プライバシー保護に関する配慮</li> <li>5) 研究依頼に関する検討 (研究協力者・施設長への依頼文書の作成等も含む)</li> </ol> <p>36～45 倫理審査委員会提出書類の作成・申請手続き（機関・施設の基準に準拠する）</p>					全て 後藤 柴田 大谷
評価方法 評価基準	演習における積極性および課題取り組み状況などを踏まえ、研究計画書を総合評価する。					
教科書	適宜紹介する。		参考書等	適宜紹介する。		